



広報

第776号

平成20年(2008年)8月15日

毎月1日・15日発行

編集・発行
猪名川町総務課

人口 32,367人
世帯数 11,361世帯
(8月1日現在)

いながわ

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 072 (766) 0001 (代表) ファックス番号 072 (766) 3732



平和と人権を 考える夏

21世紀は人権の時代

8月は「人権文化をすすめる県民運動」の推進調月間です。
一人ひとりが、家庭・地域・学校・職場など日常生活での交流を大切に、お互いを尊重し認めあいながら、ともに支えあうことができる心豊かな社会をつくっていきましょう。

21世紀は「人権の世紀」といわれています。戦争の世紀といわれた20世紀の経緯を踏まえ、平和と人権が尊重される21世紀にしたいという人々の願いが込められ、世界規模で人権確立のための取り組みがなされて

7月7日、楊津小学校で平和集会が開催されました。児童達は、七夕の日にちなんで、平和への願いを込めた短冊を作り、笹に結び付けました。

国連では「人権のないところには平和は存在しない」「平和のないところには人権は存在しない」との理念のもとに、多くの人権に関する条約を採択しています。

ありのままの自分を大切に

自分のことを大切にできる人は、他人も大切にできるといわれます。
ありのままの自分を自分らしさとして認め、価値のある存在であるという「自己肯定感」を持つことで、他人を大切にできる心、生命の尊厳に対する感性を育むことができます。
まずは自分自身を認め、そして一人ひとりの個性を

～人権を考える町民のつどい～

介助犬

アトム

と一緒に生きる

とき 8月23日(土)午後1時30分～同3時30分
(同1時～開場)

ところ 文化体育館 小ホール

講師 館林千賀子さん(読売新聞中部支社社会部記者)

問い合わせは、木津総合会館(768-0217)へ。



人権作文 私は絶対忘れない

私は今年修学旅行で広島に行きました。私が最初に買ったのは平和公園でした。そこで「教師と子の像」にみんなが折った千羽鶴をさげました。その次に平和記念資料館に行きました。そこには、たくさんの被爆者の遺品がありました。そこで私が見たのは戦争の残酷さでした。特に私の心に残ったのが、折免滋さんの真つ黒なお弁当箱と、谷口いさをさんのぼろぼろになった制服でした。他にも模型がありました。原爆投下直前の模型と原

爆投下直後の模型が並んでいて、見比べた時とても信じられませんでした。原爆は恐ろしいと思いました。でも、私が一番悲しくなったのは、実際に被爆された梶本さんのお話を聞いたときでした。梶本さんは、当時14才で中学生でしたが、日本軍の飛行機のプロペラを作る仕事をしていたそうです。「戦争をしないと必ず幸せになる」という大人の言葉を信じ続けて、むちでたたかれながらも一生懸命で働いていたそうです。食べ物には無くみんな道に生えている草を食べながら生きていたそうです。

す。そんな時、原爆が広島に落とされました。「地獄のような場所」に変わってしまった。と梶本さんはおっしゃっていました。大切な友だちや家族や親戚を亡くして、どんなにつらく悲しかっただろうと思います。平和記念資料館で見た中学1年生の谷口いさをさんの制服は、梶本さんが寄贈されたそうです。2人はいっしょに生きていた。私は、どうして日本の国は戦争をしてしまったのかと腹が立ちました。何の罪も無い人たちが、こんなひどい目にあってしまふ戦争はいやです。終戦後62年経っても、未

だに原爆の後遺症が残っている人たちがいると聞いてびっくりしました。今でも世界のおちこちで戦争や争い事があるのはとても悲しいことです。私は、大人になったら世界が平和になるように、戦争をなくすことに役立つ人になりたいです。私は広島で学んだことを絶対に忘れません。
土田望恵さん(猪名川小学校6年の時の作品)



あなたの気持ちをカタチにしよう

生活の中で感じる身近な人権問題や人の優しさ・思いやり、お世話になった人達への温もりいっぱいの想いなど、あなたの気持ちを詩や作文・絵手紙にしてみませんか。

標語・絵手紙・習字作品を募集

応募規格 標語・絵手紙 = はがきサイズ、習字 = 半紙サイズ

応募資格 町内在住・在学・在勤の人

応募期限 10月31日

賞 賞状・副賞(図書券)

その他 入選作品は、人権啓発冊子「和(なごみ)」に掲載

申込み・問い合わせは、木津総合会館(768-0217)へ。

部門 小説・随想・詩・創作童話 字数制限あり

応募資格 県内在住・在学・在勤の人

賞 賞状・副賞など

応募期限 9月30日

申込み・問い合わせは、県人権啓発協会(078-242-5355)へ。

いずれも未発表・未投稿の自作作品に限ります

のこるく文芸賞の作品を募集